

令和7年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、令和7年7月22日～令和7年8月5日にかけて実施した「令和7年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居住意向について	4
2. 越谷市への愛着度と魅力発信について	5
3. 広報について	6
4. 市内の公共交通について	8
5. 景観（風景）について	9
6. 地場農産物や地産地消について	10
7. 参加と協働のまちづくりについて	11
8. ひきこもりについて	12
9. 環境政策について	13
10. 人権全般に関する意識について	15
11. 男女共同参画について	16
12. 行政のデジタル化について	17
13. 地域医療体制について	18
14. 介護サービスについて	19
15. 地域活動への参加状況について	20
16. 相談できる相手や場所について	20
17. 障がいや障がいのある人に対する理解について	20
18. キャッシュレス決済について	21
19. 自治会について	22
20. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	24
21. 越谷市の施策について	25

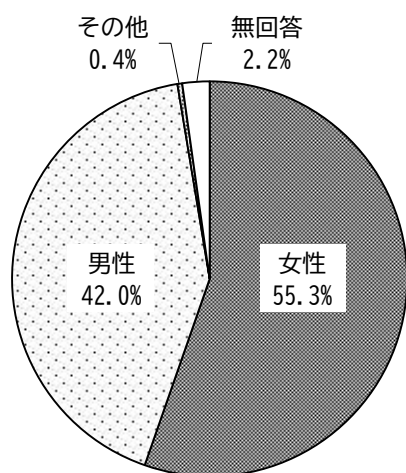
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市内全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収またはインターネット回収）
- ◆ 調査期間 : 令和7年7月22日～令和7年8月5日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数2,440人 回収率48.80%

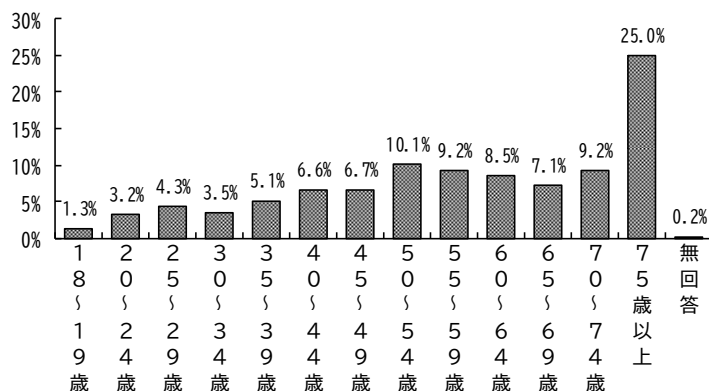
Ⅱ. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

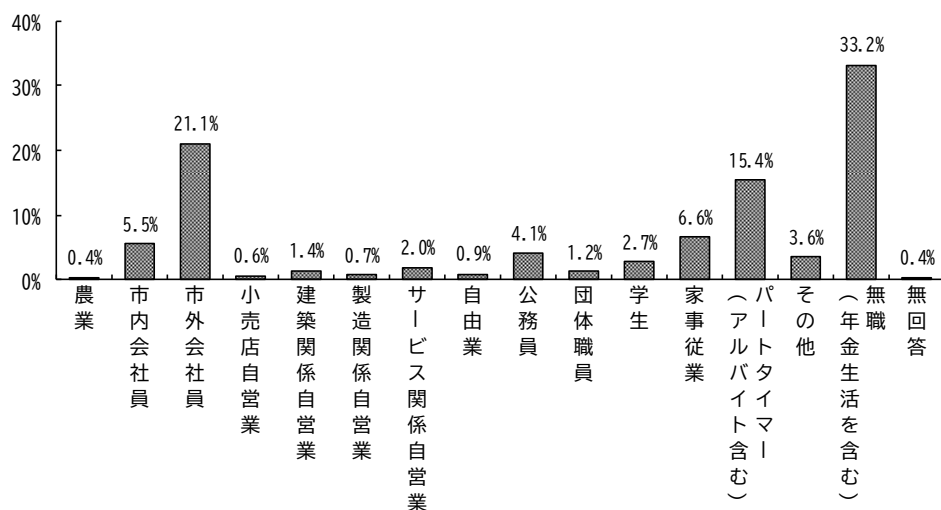
◆性別 (n=2,440)



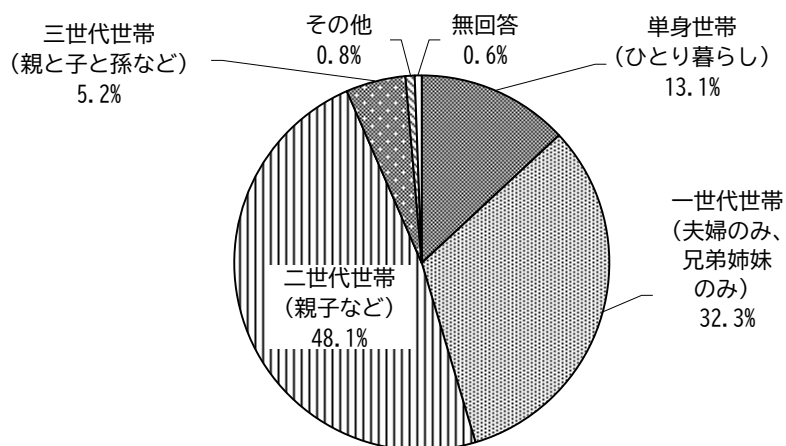
◆年代 (n=2,440)



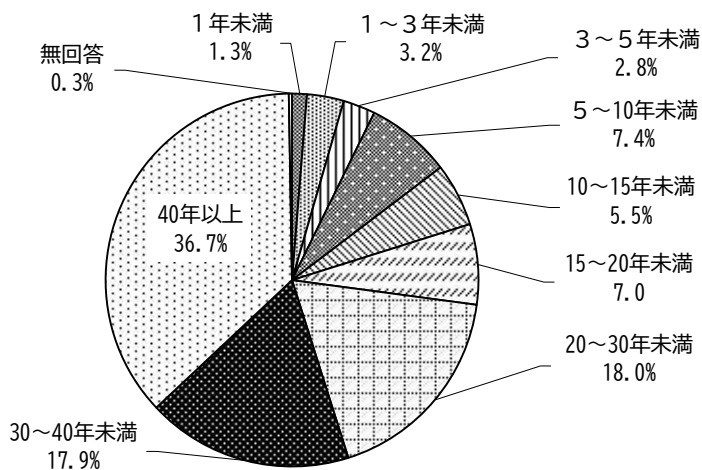
◆職業 (n=2,440)



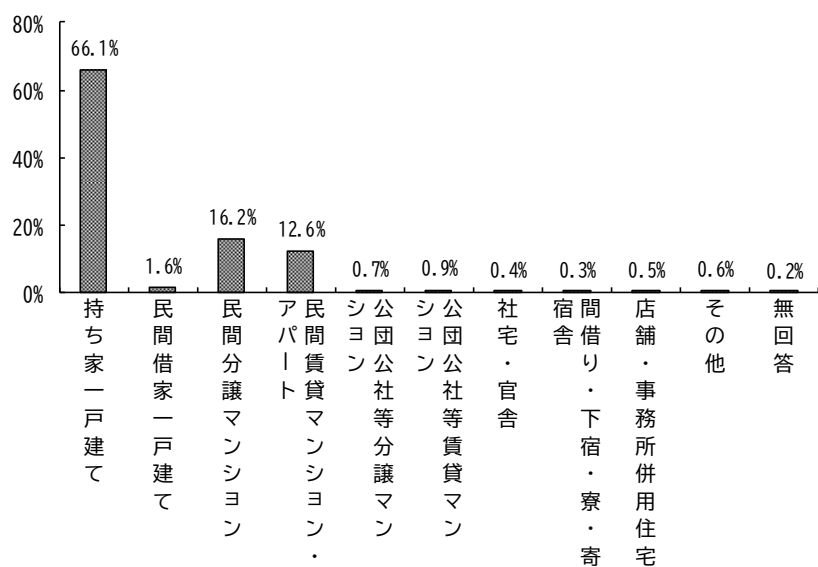
◆世帯の状況 (n=2,440)



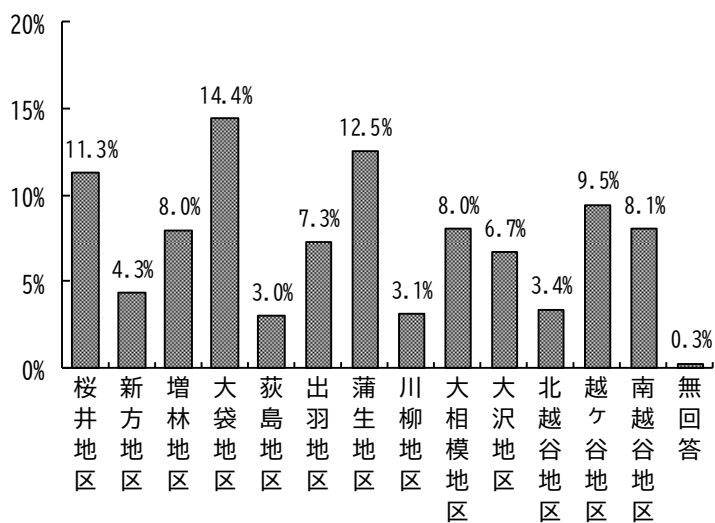
◆居住年数 (n=2,440)



◆居住形態 (n=2,440)



◆居住地区 (n=2,440)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居留意向について

- 現在の暮らし向きには『満足』（「十分満足している」と「十分とはいえないが、一応満足している」の合計）が6割弱。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は8割弱。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」と「引っ越したい」の合計）は1割強。その主な理由は、「交通の便が悪いので」が2割弱で最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,440)

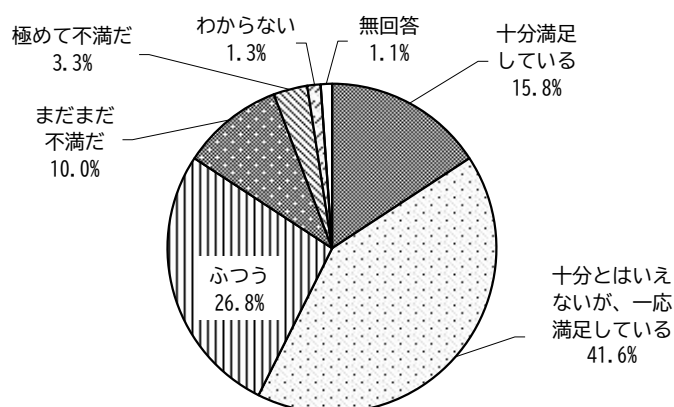


図 1-2 居留意向 (n=2,440)

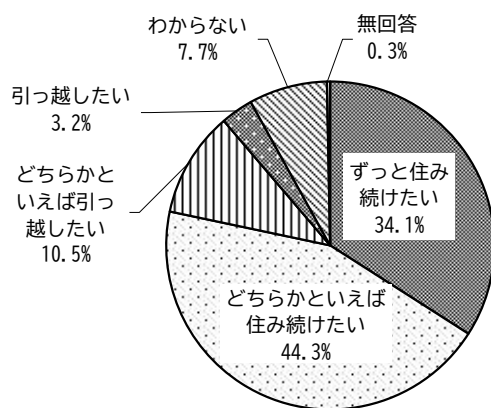
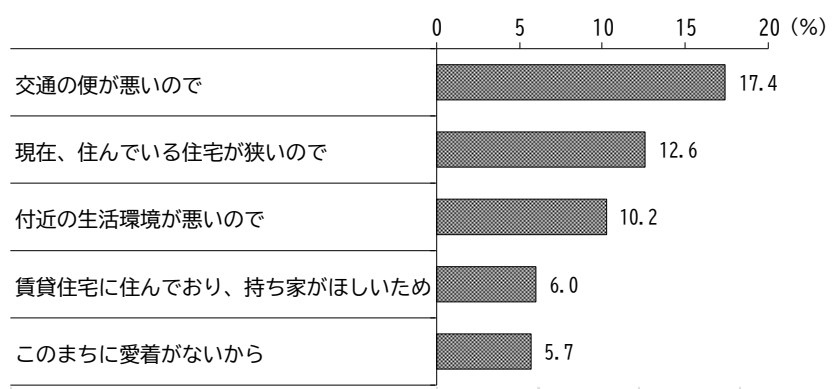


図 1-3 転居意向の理由 (上位5項目) (n=333)



2. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は、『愛着がある』（「とても愛着がある」、「愛着がある」、「やや愛着がある」の合計）が7割半ば。
- 愛着がある理由は、「日常生活における買い物が便利」が約6割で最も多い。
- 地域への貢献意欲は、『貢献したい』（「大いに貢献したい」、「貢献したい」、「やや貢献したい」の合計）が6割弱。
- ブランドメッセージ「水遊都市 KOSHIGAYA」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」、「知っている」、「まあまあ知っている」の合計）が4割強。

図 2-1 越谷市への愛着 (n=2,440)

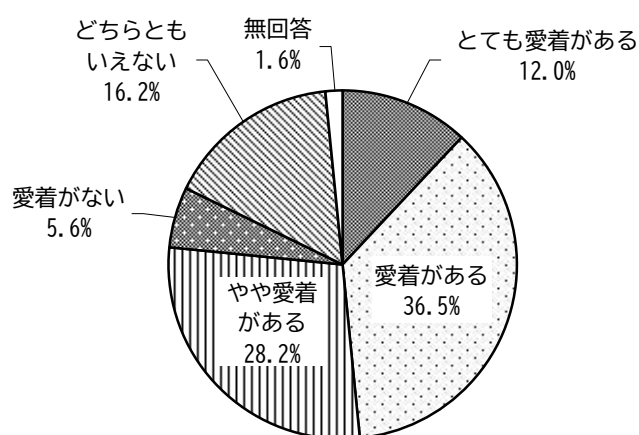


図 2-2 愛着がある理由 (上位5項目)
(n=1,869)

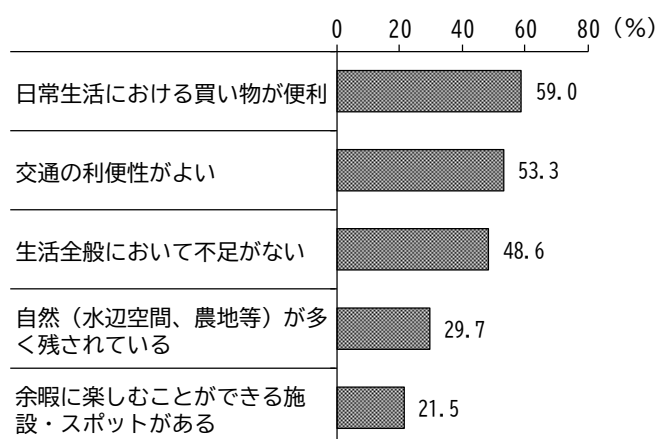


図 2-3 地域への貢献意欲 (n=2,440)

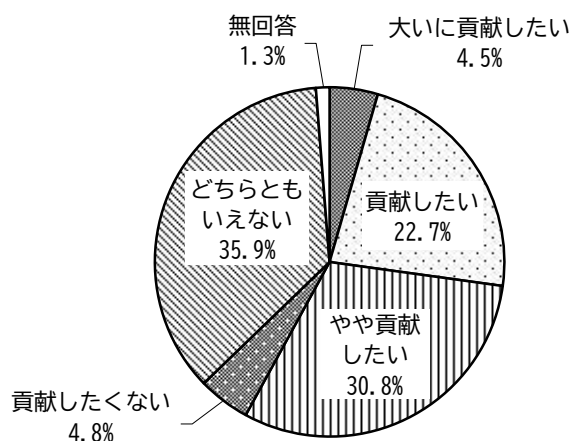
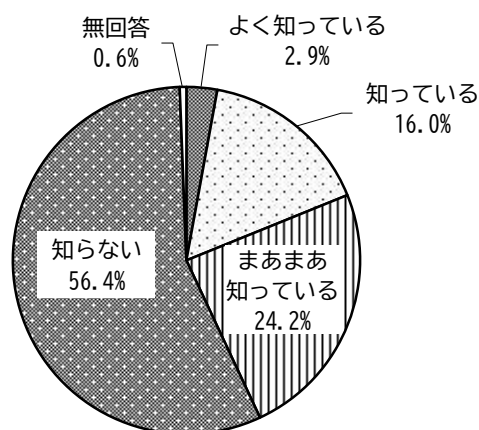


図 2-4 ブランドメッセージ「水遊都市 KOSHIGAYA」の認知度 (n=2,440)



3. 広報について

- 市政情報の入手先は、「広報こしがや」が6割強で最も多い。
- 「広報こしがや」の情報入手媒体は、「紙面」が9割弱で最も多い。
- 「広報こしがや」のわかりやすさは、『わかりやすい』（「わかりやすい」と「おおむねわかりやすい」の合計）が約6割。
- 「広報こしがや」で興味をもった記事は、「医療・健康」が5割弱で最も多い。
- 「広報こしがや」等が役立ったことがあるかは、『役に立った』（「とても役に立った」、「役に立った」、「やや役に立った」の合計）が6割強。
- 「広報こしがや」などの市政情報で役立った点は、「子育てや健康・医療などの暮らしに役立つ情報を知ることができた」が6割弱で最も多い。

図 3-1 市政情報の入手先（上位5項目）（n=2,440）

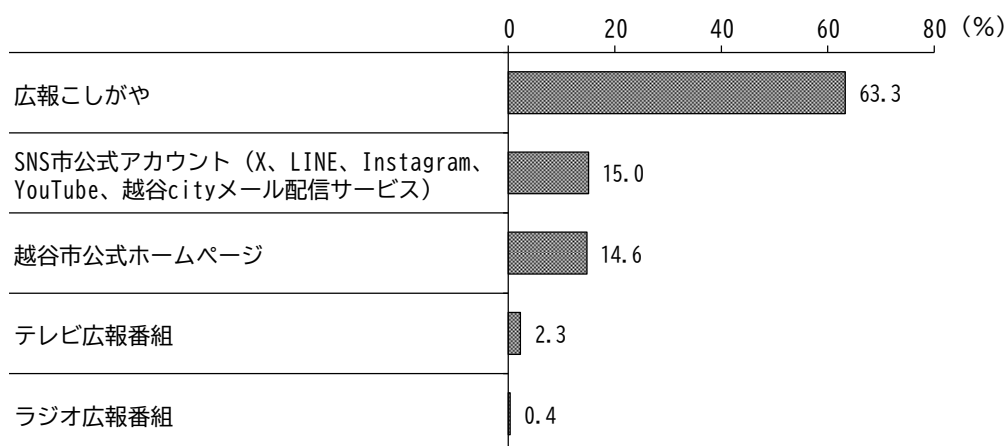


図 3-2 「広報こしがや」の情報入手媒体（n=1,545）

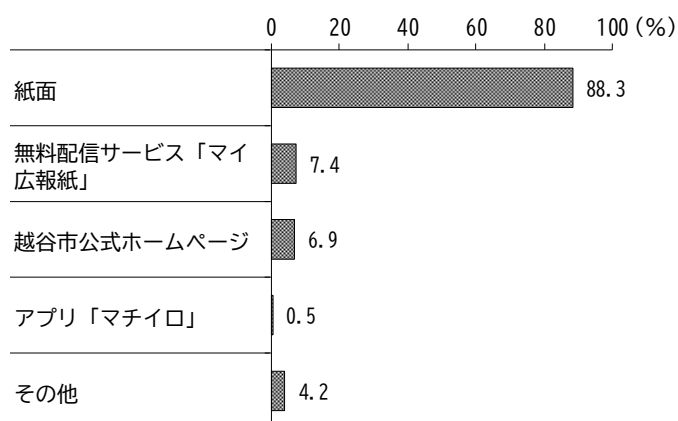


図 3-3 「広報こしがや」のわかりやすさ（n=2,440）

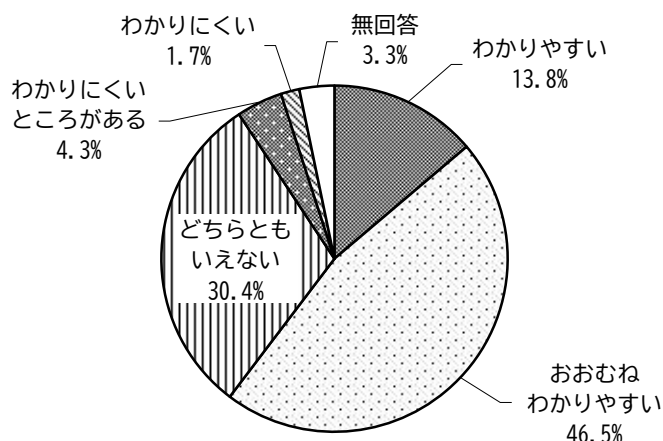


図 3-4 「広報こしがや」で興味をもった記事（上位 5 項目）（n=2,440）

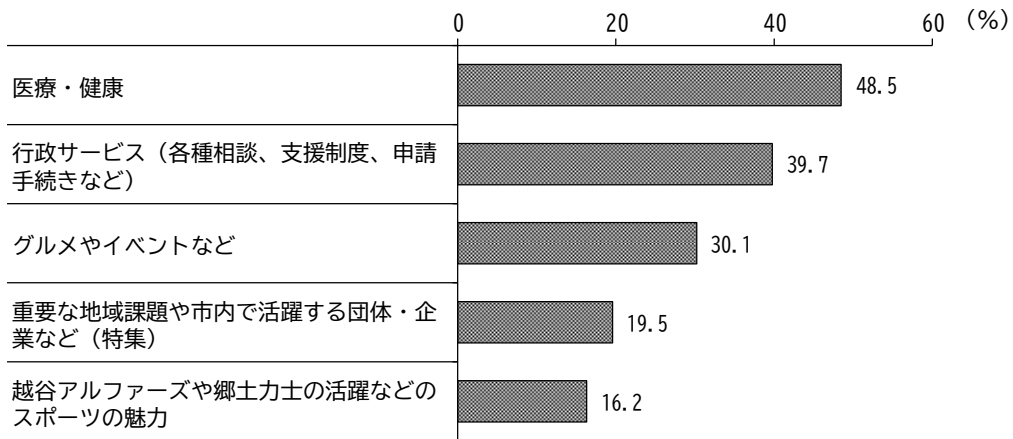


図 3-5 「広報こしがや」等が役立ったことがあるか（n=2,440）

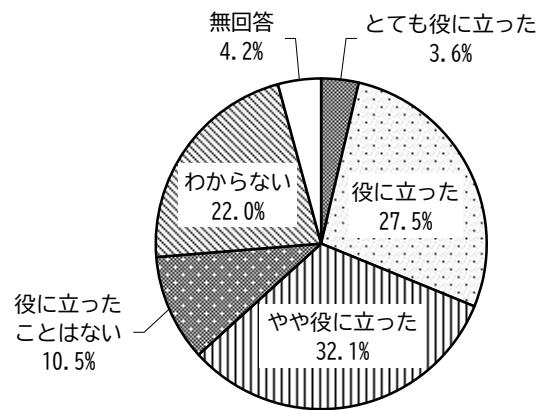
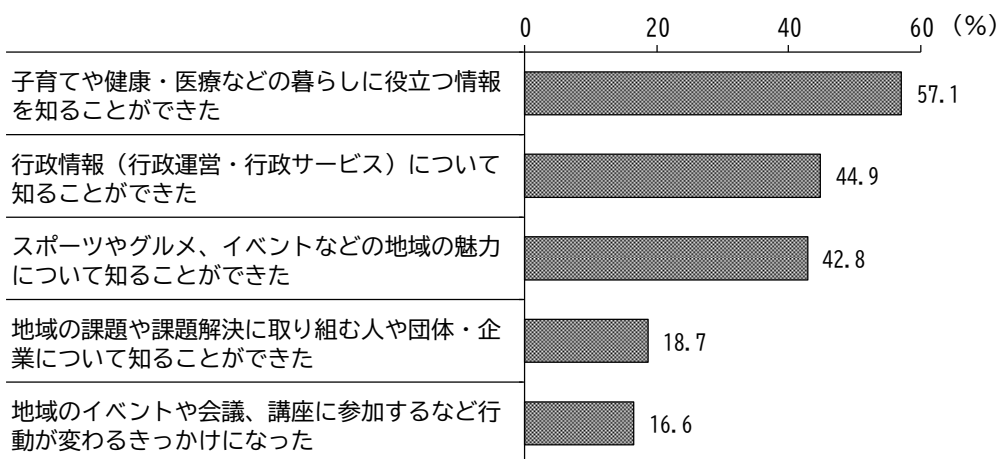


図 3-6 「広報こしがや」などの市政情報で役立った点（上位 5 項目）（n=1,544）



4. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用状況について、鉄道は「常に利用している」が2割半ば、バスは「全く利用しない」が4割弱、タクシーは「全く利用しない」が5割弱で最も多い。
- 公共交通の満足度について、『満足』（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）は鉄道が8割強、バスが5割、タクシーが約5割。

図 4-1 公共交通の利用状況 (n=2,440)

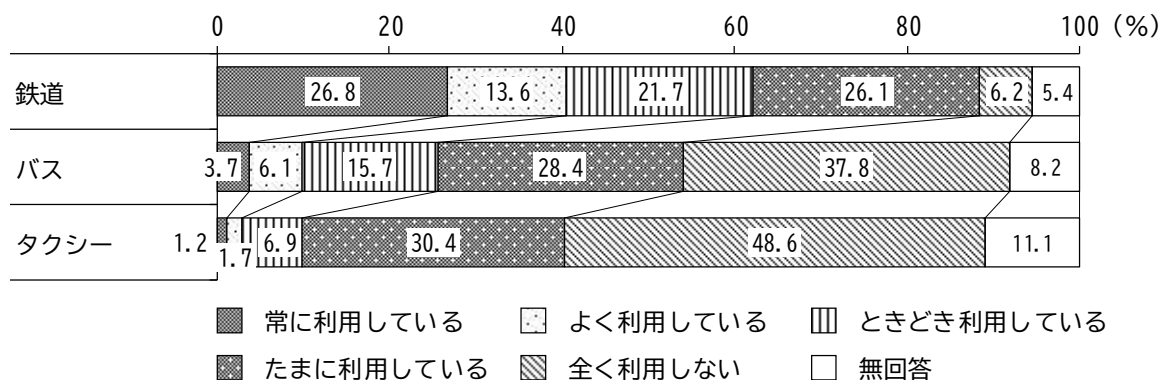
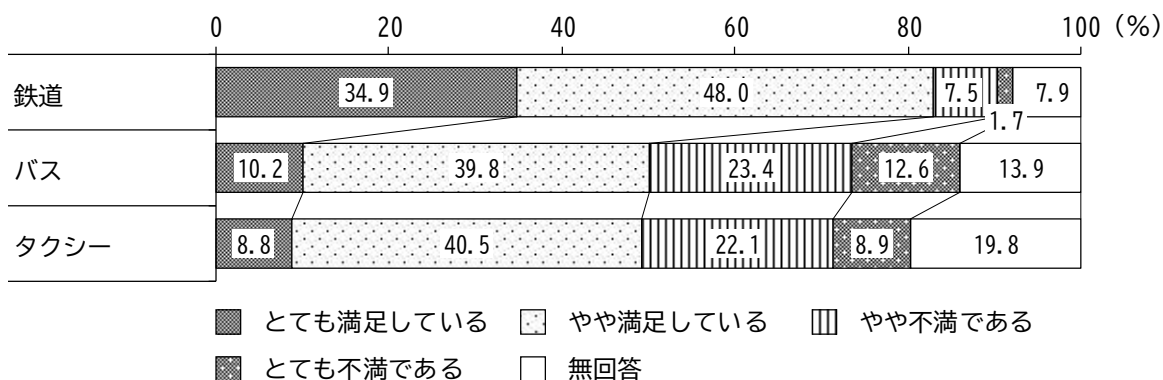


図 4-2 公共交通の満足度 (n=2,440)



5. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は、『満足』（「満足している」と「十分とはいえないが、おおむね満足している」の合計）が約7割。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むことは、「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が5割で最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度（n=2,440）

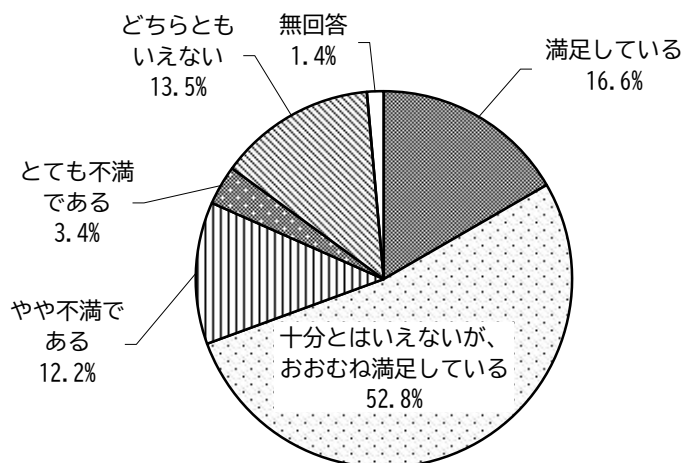
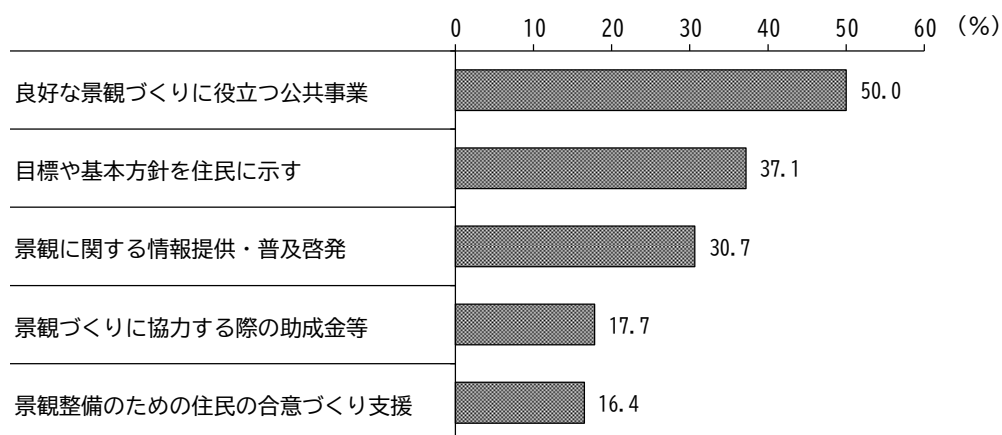


図 5-2 行政に望むこと（上位5項目）（n=2,440）



6. 地場農産物や地産地消について

- 越谷市の農業特産物の認知度は、「いちご」が7割半ば、「ねぎ」が6割半ばと多くなっている。
- 越谷市の農業特産物の購入経験は、「ねぎ」が6割半ばで最も多い。
- 購入場所は、太郎兵衛もち「市民まつりなどイベント」、くわい・山東菜は「農産物直売所」、ねぎ・いちご・チューリップ・小松菜は「市内スーパーマーケット」が多くなっている。

図 6-1 越谷の農業特産物の認知度 (n=2,440)

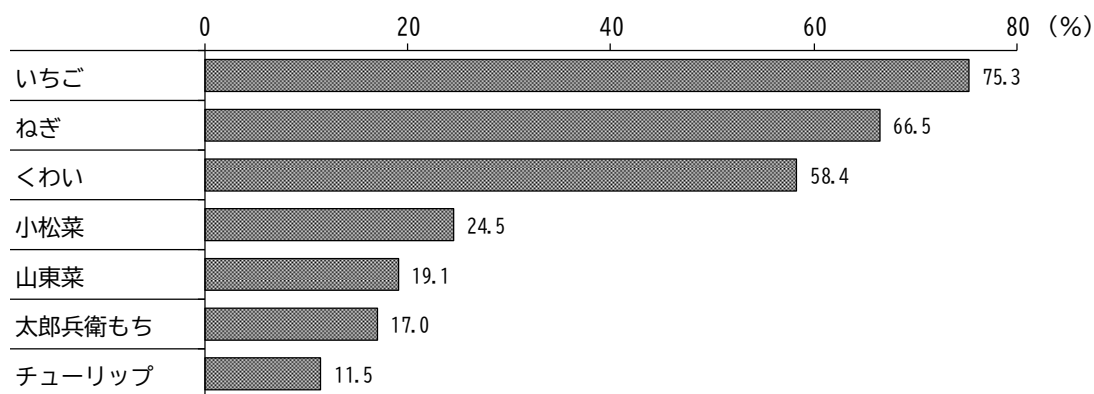
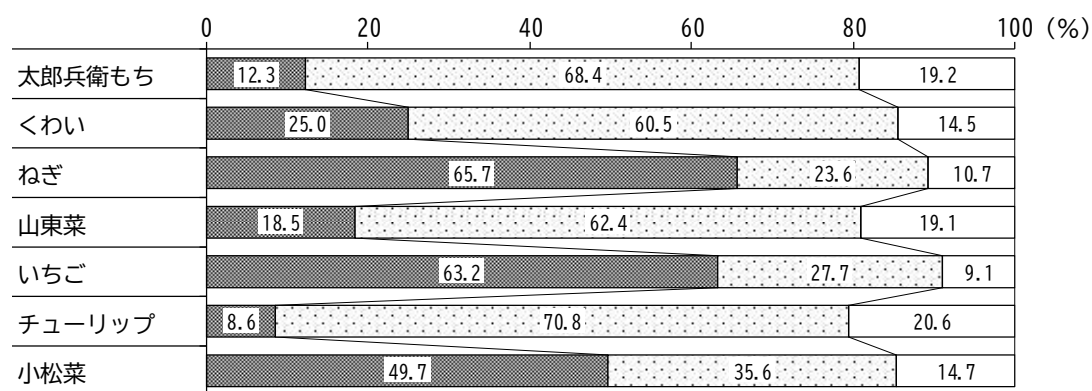
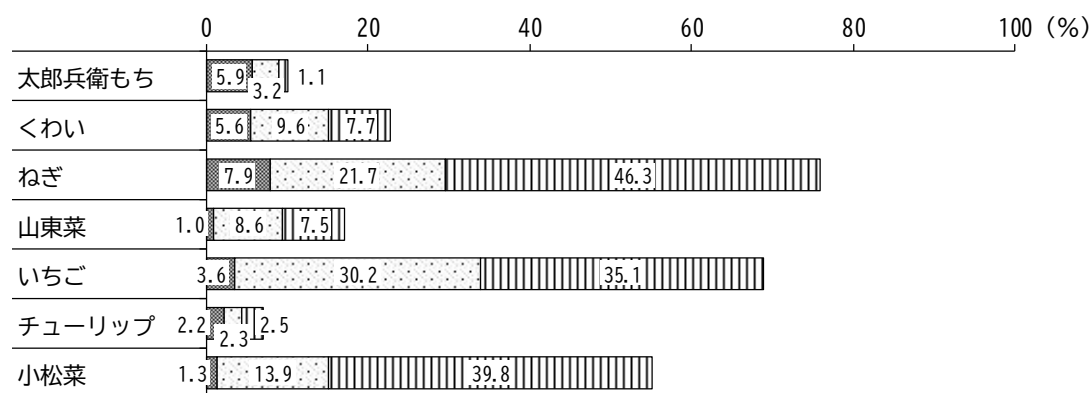


図 6-2 越谷の農業特産物の購入経験・購入場所 (n=2,440)



■ 購入したことがある □ 購入したことがない □ 無回答



■ 市民まつりなどイベント □ 農産物直売所 □ 市内スーパーマーケット

7. 参加と協働のまちづくりについて

- 「参加と協働のまちづくり」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割半ば。
- 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が約8割で最も多い。
- 「参加と協働のまちづくり」への参加意向は、『参加したい』（「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計）が3割半ば。
- 「越谷市自治基本条例」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割未満。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が7割強で最も多い。
- 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法は、「広報こしがやへの情報掲載」が6割弱で最も多い。

図 7-1 「参加と協働のまちづくり」の認知度
(n=2,440)

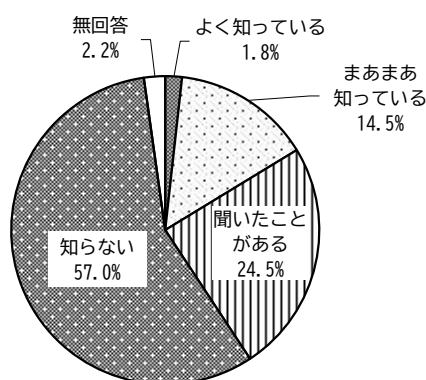


図 7-2 「参加と協働のまちづくり」を知った
きっかけ（上位5項目）(n=994)

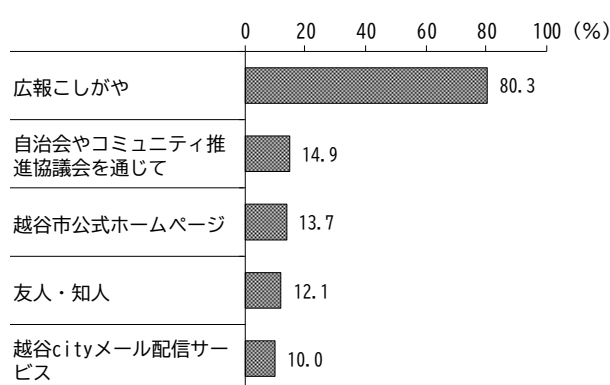


図 7-3 「参加と協働のまちづくり」への参加意向
(n=2,440)

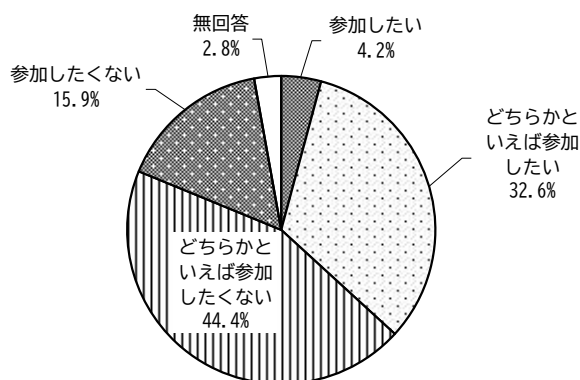


図 7-4 「越谷市自治基本条例」の認知度
(n=2,440)

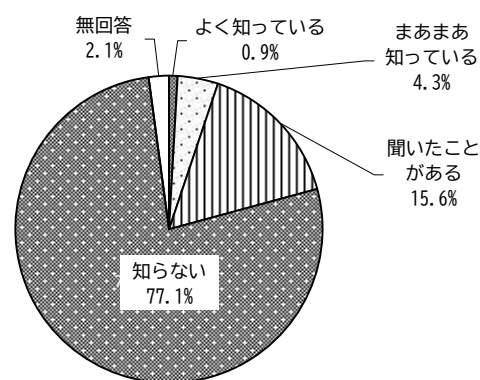


図 7-5 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ
(上位5項目) (n=507)

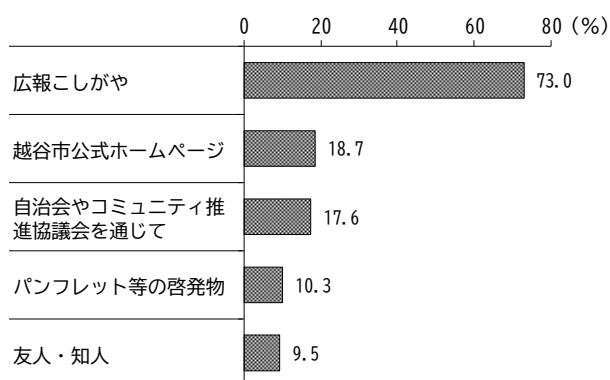
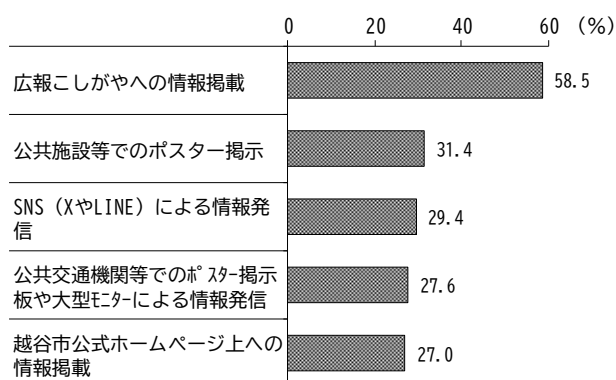


図 7-6 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法
(上位5項目) (n=2,440)



8. ひきこもりについて

- 自身、または家族の中に『ひきこもり』の状態に当てはまる人がいるかどうかについては、「いる」が1割未満、「いない」が9割強。
- 『ひきこもり』の状態にある方の年齢については、「20歳代」が2割弱で最も多い。
- 『ひきこもり』の状態にある方の期間については、「10年以上20年未満」が2割半ばで最も多い。
- 『ひきこもり』の状態にある方の相談の状況については、「相談したことがある」が約4割で最も多い。
- ひきこもり支援として必要なものは、「ひきこもり支援に関する様々な情報の提供」が約4割で最も多い。
- ひきこもり相談窓口として知っている窓口・団体は、「児童相談所」が約3割で最も多い。

図 8-1 自身、または家族の中に『ひきこもり』の状態に当てはまる人の有無 (n=2,440)

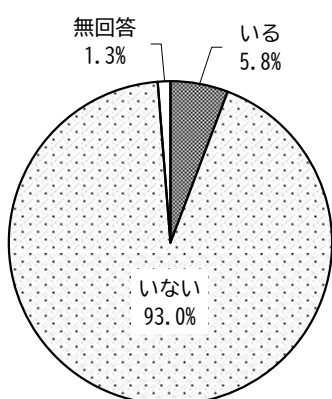


図 8-3 『ひきこもり』の状態にある方の期間 (n=141)

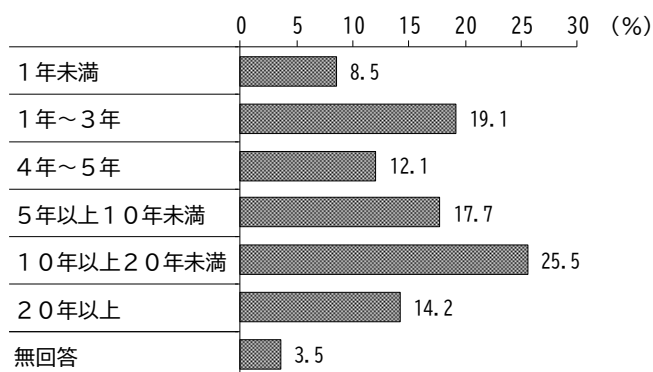


図 8-5 ひきこもり支援として必要なもの (上位5項目) (n=2,440)

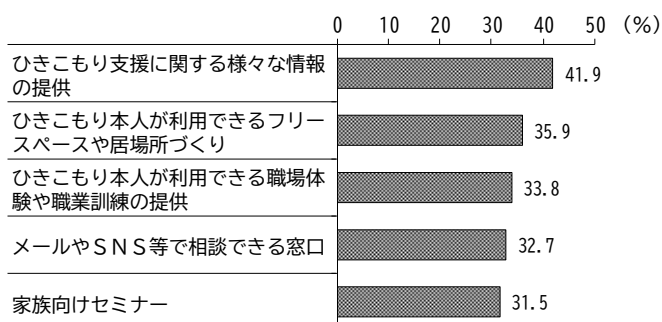


図 8-2 『ひきこもり』の状態にある方の年齢 (n=141)

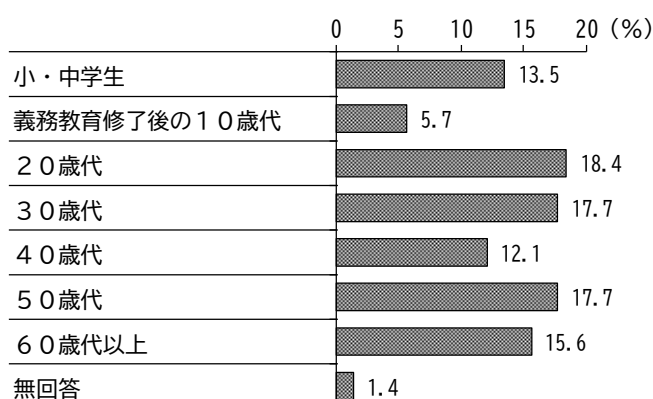


図 8-4 『ひきこもり』の状態にある方の相談の状況 (n=141)

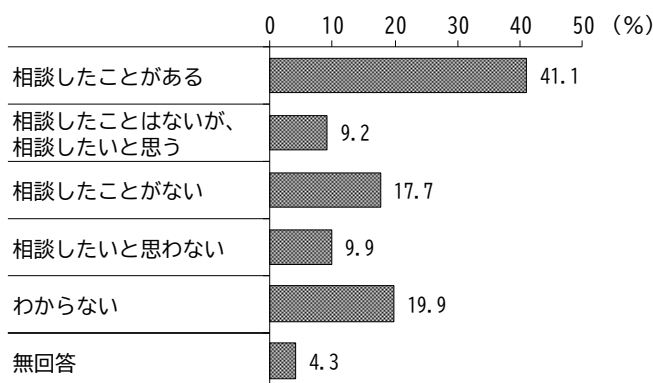
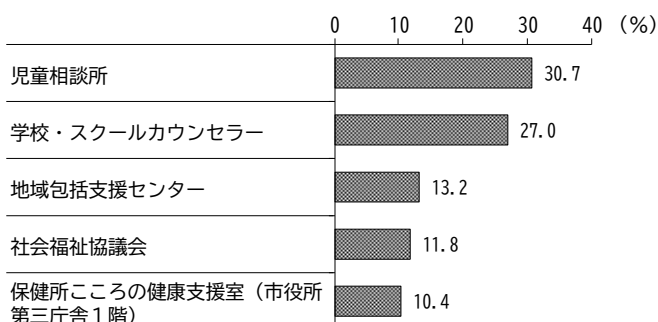


図 8-6 ひきこもり相談窓口として知っている窓口・団体 (上位5項目) (n=2,440)



9. 環境政策について

- 環境や環境の取組への関心度は、『関心がある』（「関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）が約7割。
- 関心がある環境の取組は、「ごみの減量・リサイクル」が約7割で最も多い。
- 「脱炭素社会」の認知度は、『言葉を知っている』（「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよくわからない」の合計）が8割半ば。
- 脱炭素社会の実現への取組意向は、『取り組みたい』（「積極的に取り組みたい」と「ある程度取り組みたい」の合計）が8割半ば。
- 脱炭素社会の実現に取り組みたくない理由は、「地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからない」が約4割で最も多い。
- 脱炭素社会の実現につながる行動で「実践している」行動は、「レジ袋等の使用量を削減するため、買い物にはマイバッグやかごを持参する」と「ごみの正しい分別や資源のリサイクルを積極的に行う」が8割を超えて多くなっている。

図 9-1 環境や環境の取組への関心度
(n=2,440)

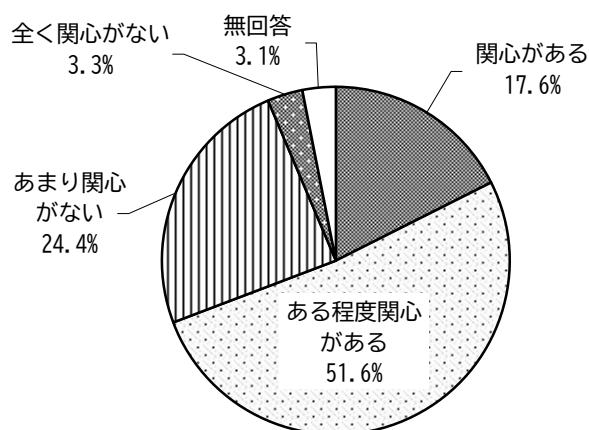


図 9-2 関心がある環境の取組（上位5項目）
(n=1,689)

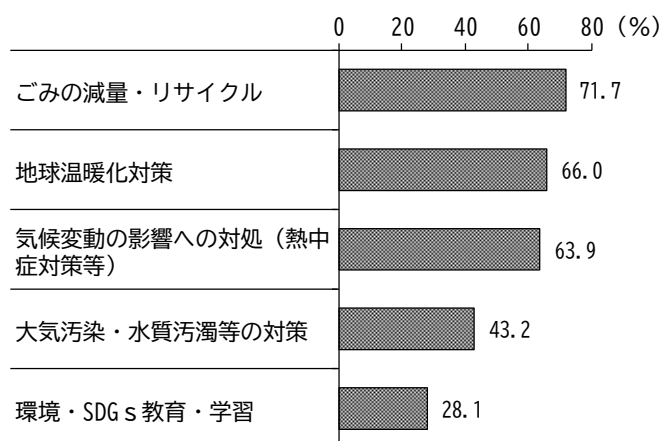


図 9-3 「脱炭素社会」の認知度
(n=2,440)

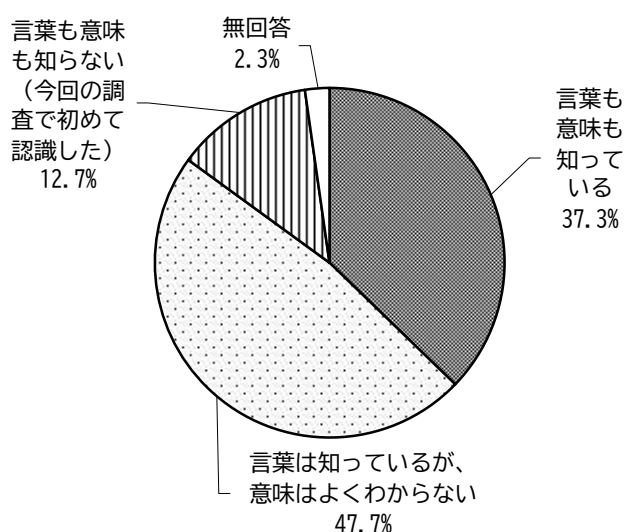


図 9-4 脱炭素社会の実現への取組意向
(n=2,440)

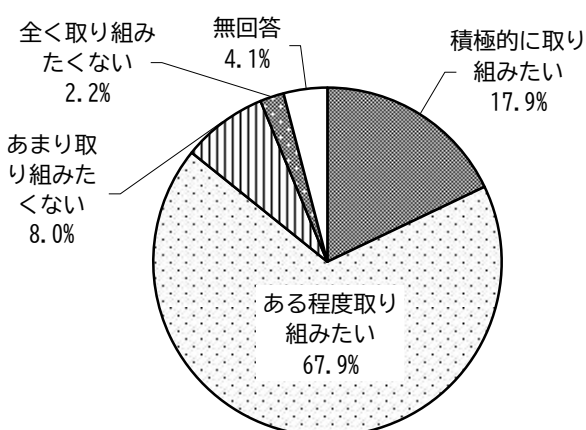


図 9-5 脱炭素社会の実現に取り組みたくない理由（上位5項目）（n=248）

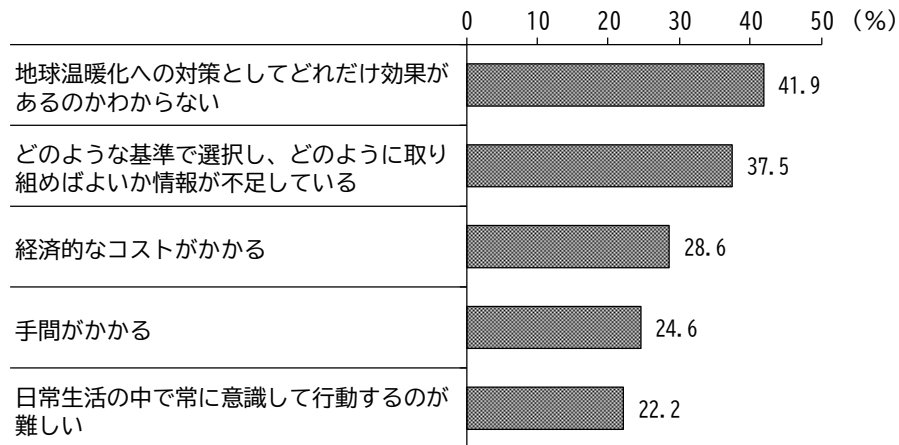
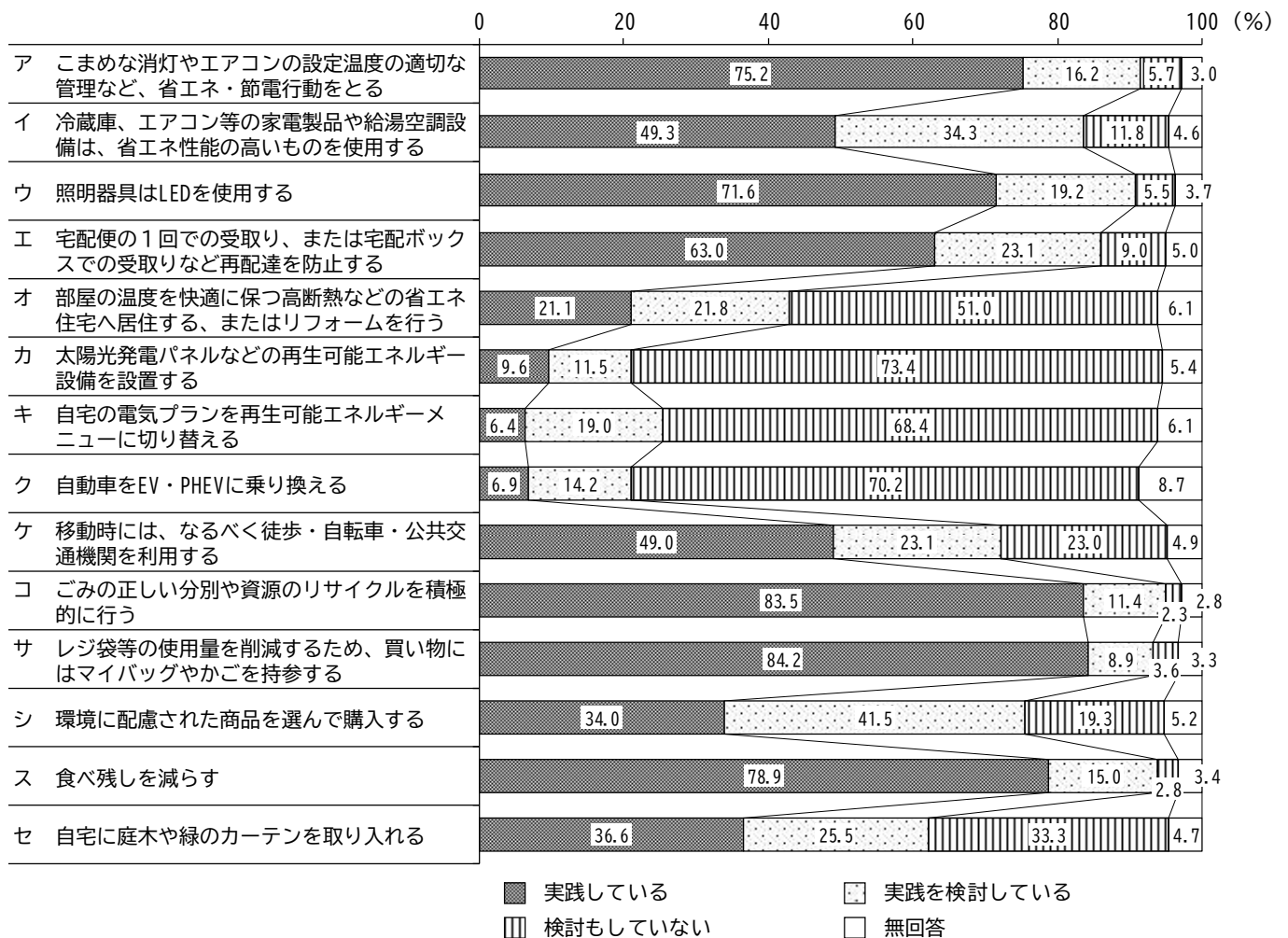


図 9-6 脱炭素社会の実現につながる行動の実践状況（n=2,440）



10. 人権全般に関する意識について

- 基本的人権の意識について、『尊重されている』（「十分尊重されている」と「やや尊重されている」の合計）が6割強。
- 10年前と比べた人権意識は、『高くなっている』（「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計）が5割半ば。
- 関心のある人権問題は、「インターネット上における人権問題」が4割半ばで最も多い。
- 人権が侵害されたと感じたことは、「ある」が1割半ば、「ない」が6割弱。
- 人権侵害を感じた内容は、「あらぬ噂を立てられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が約5割で最も多い。

図 10-1 基本的人権の意識 (n=2,440)

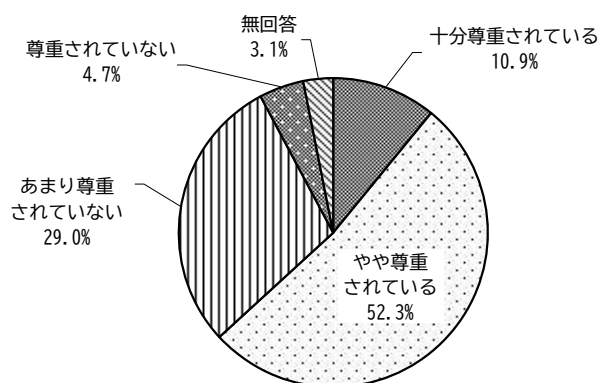


図 10-2 人権意識の変化 (n=2,440)

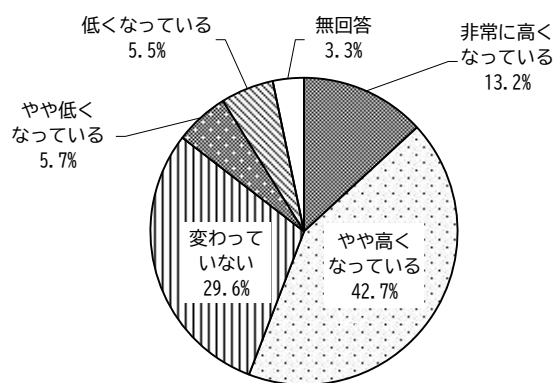


図 10-3 関心のある人権問題 (上位5項目) (n=2,440)

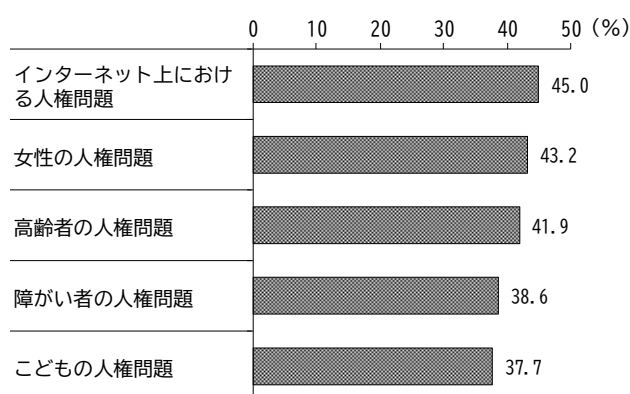


図 10-4 人権侵害を感じたこと (n=2,440)

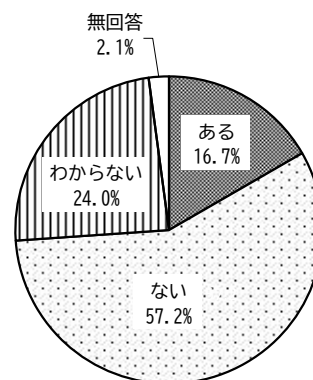
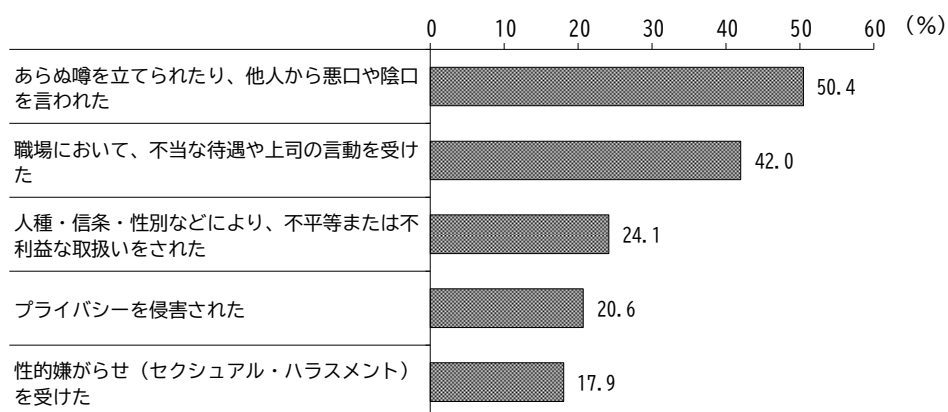


図 10-5 人権侵害を感じた内容 (上位5項目) (n=407)



11. 男女共同参画について

- 男女がともに仕事と家庭を両立するための条件は、「育児休業・介護休暇制度を利用できる職場環境を整備すること」が約6割で最も多い。
- 日常生活のなかでの優先度について、優先したいと希望するものは「家庭生活」が約3割、現実に優先しているものは、「家庭生活」が3割半ばで最も多い。
- 1日の生活で希望どおりの時間配分ができているか聞いたところ、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が6割弱、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）が3割半ば。
- 男女共同参画施設が今後力を入れることは、「いつでも誰でも気軽に立ち寄れる交流の場」が4割半ばで最も多い。

図 11-1 男女がともに仕事と家庭を両立するための条件（上位5項目）（n=2,440）

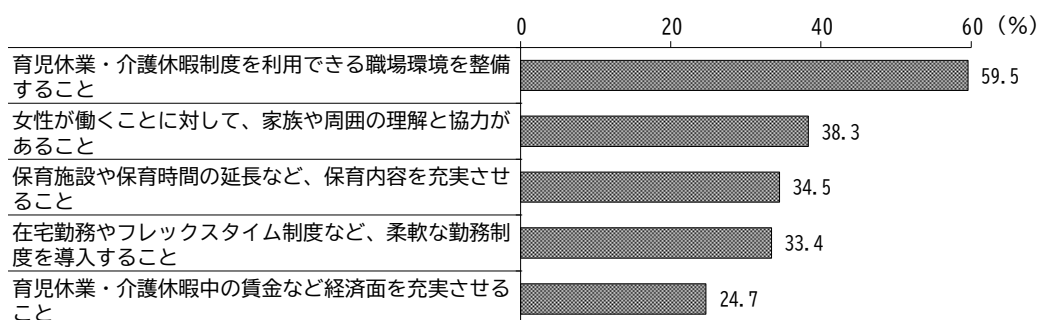


図 11-2 日常生活のなかでの優先度（希望と現実の比較）（n=2,440）

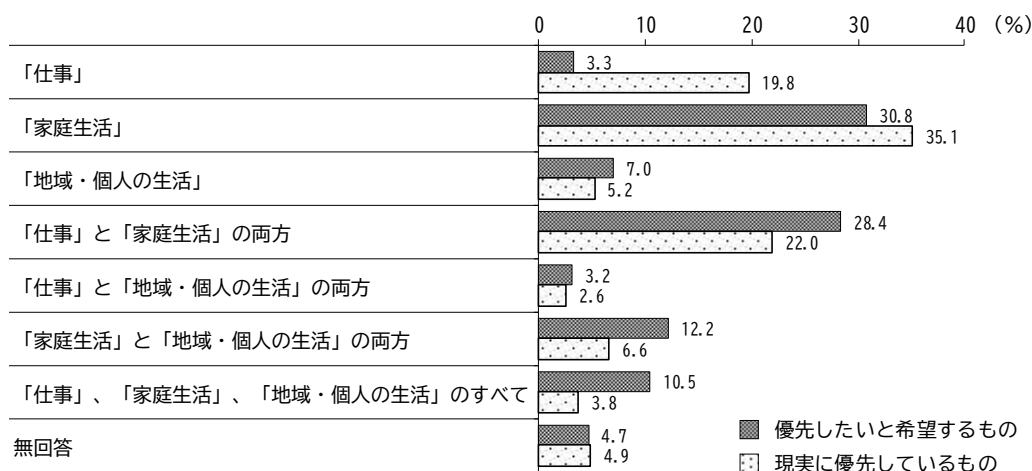


図 11-3 1日の生活で希望どおりの時間配分ができているか（n=2,440）

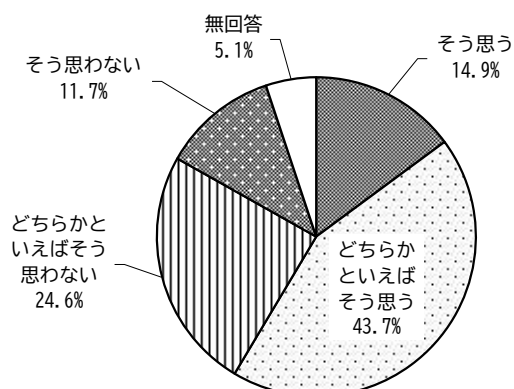
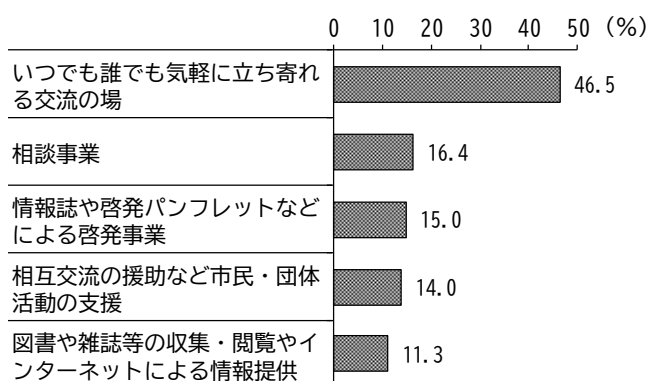


図 11-4 男女共同参画施設が今後力を入れること（上位5項目）（n=2,440）



12. 行政のデジタル化について

- デジタル行政サービスで利用したことがあるものは、「越谷市公式ホームページ」が4割強で最も多い。
- デジタル行政サービスの満足度は、『満足』（「とても満足」と「満足している」の合計）が5割弱。
- 行政サービスのデジタル化で期待する分野は、「医療」が6割弱で最も多い。

図 12-1 デジタル行政サービスで利用したことがあるもの（n=2,440）

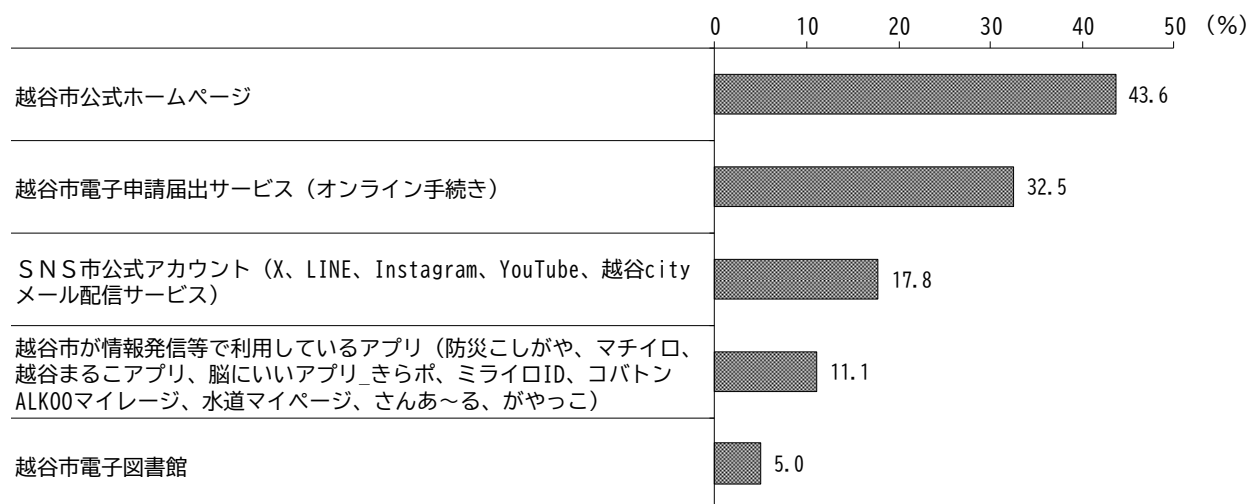


図 12-2 デジタル行政サービスの満足度（n=1,779）

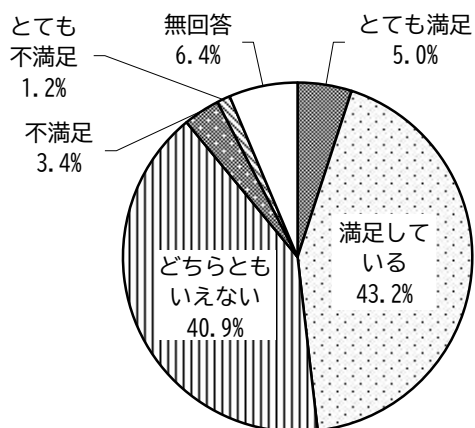
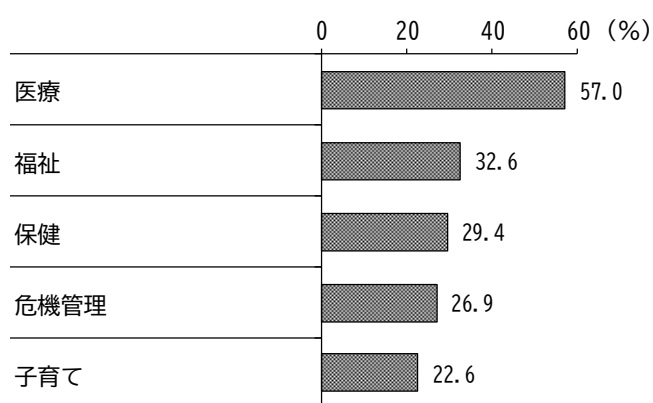


図 12-3 行政サービスのデジタル化で期待する分野（n=2,440）



13. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度（「利用（実施）したことがある」と「利用（実施）したことはないが知っている」の合計）は、「越谷市夜間急患診療所」が8割強、「休日当番医制度」が8割弱、「埼玉県救急電話相談（＃7119）」が約6割、「医療情報ネット（ナビィ）」が1割強、「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」が1割未満。
- 医療機関の情報の入手方法は、「インターネットで調べる（越谷市・厚生労働省ホームページを除く）」が約5割で最も多い。

図 13-1 地域医療体制の認知度（n=2,440）

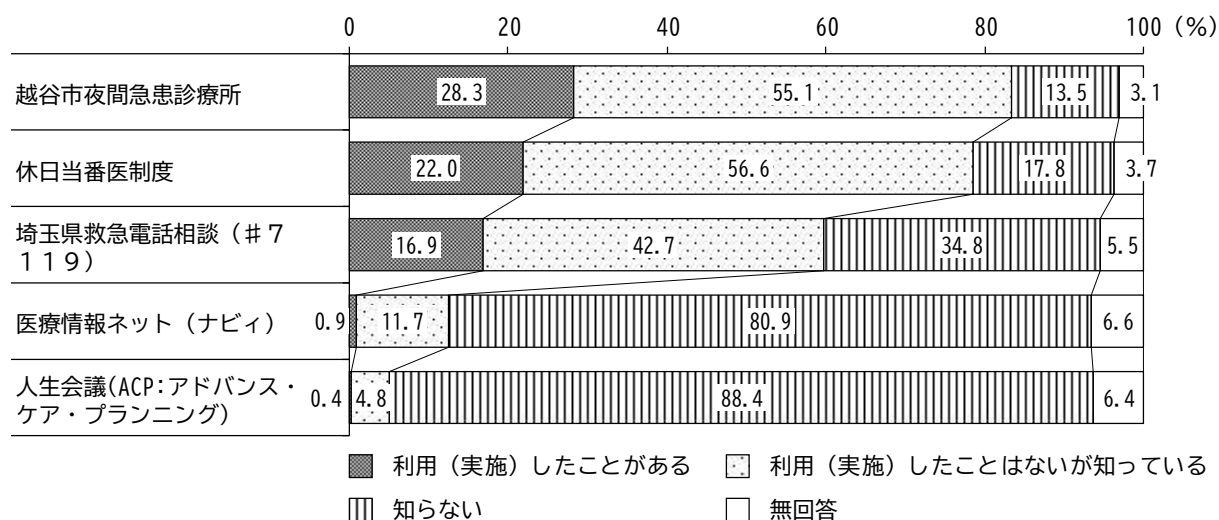
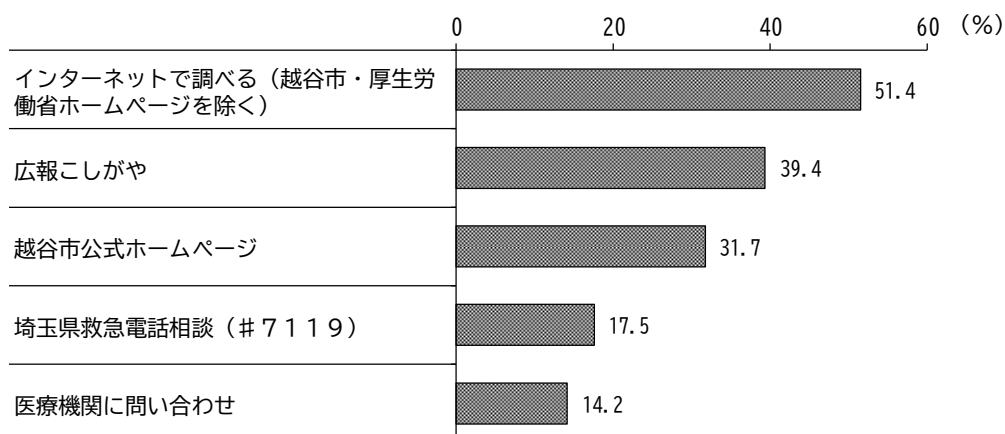


図 13-2 医療機関の情報の入手方法（上位5項目）（n=2,440）



14. 介護サービスについて

- 介護サービスの利用時に求める事業の形態については、「地域に密着した事業展開をしている施設（市内在住者のみ利用できる施設）」が約4割で最も多い。
- 介護サービスの利用時に求める事業の種別については、「施設・居住系サービス（施設に入所して介護を受けるサービス）」が4割強で最も多い。
- 介護サービスの利用時に求める事業所の体制については、「従事者のスキル向上や知識の取得に力を入れている」が約6割で最も多い。
- 介護サービスの利用時に求める従事者の資質については、「利用者の話をしっかり聞く」が5割半ばで最も多い。

図 14-1 事業の形態 (n=2,440)

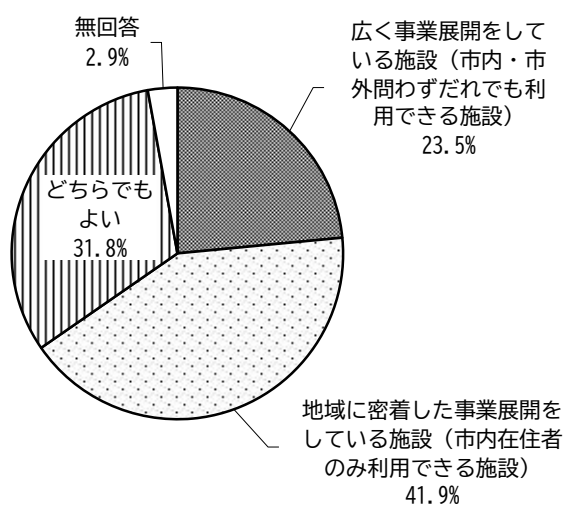


図 14-2 事業の種別 (n=2,440)

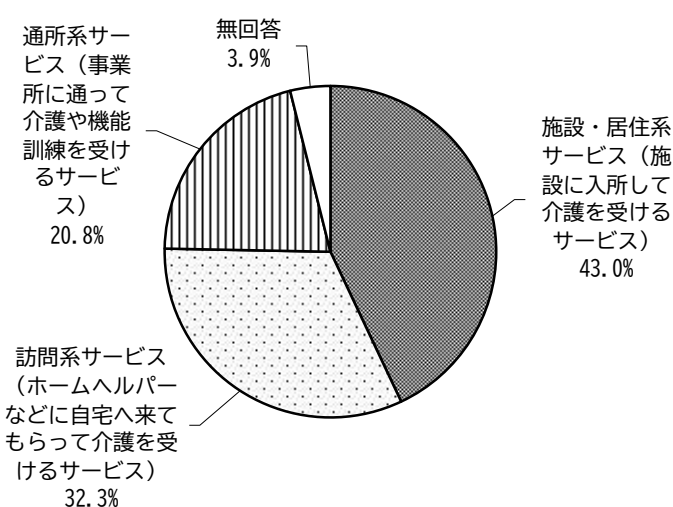


図 14-3 事業所の体制 (n=2,440)

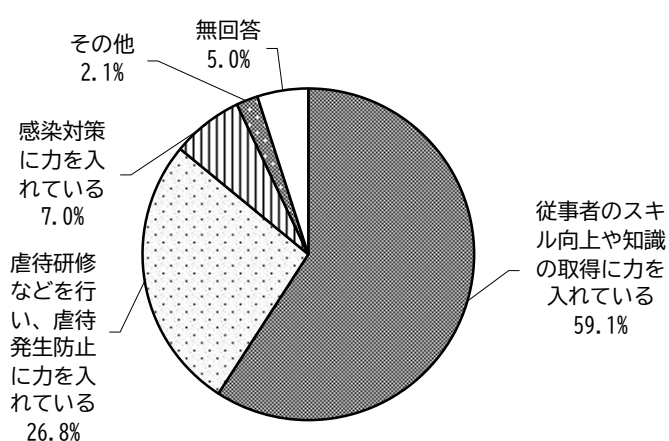
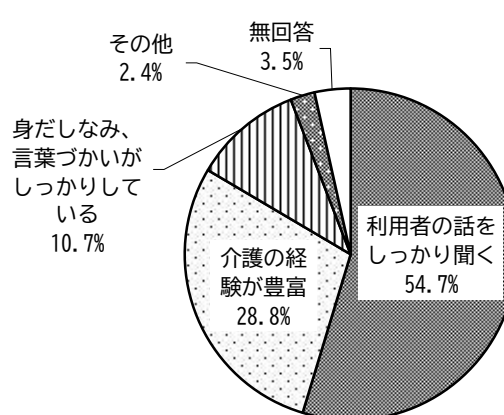


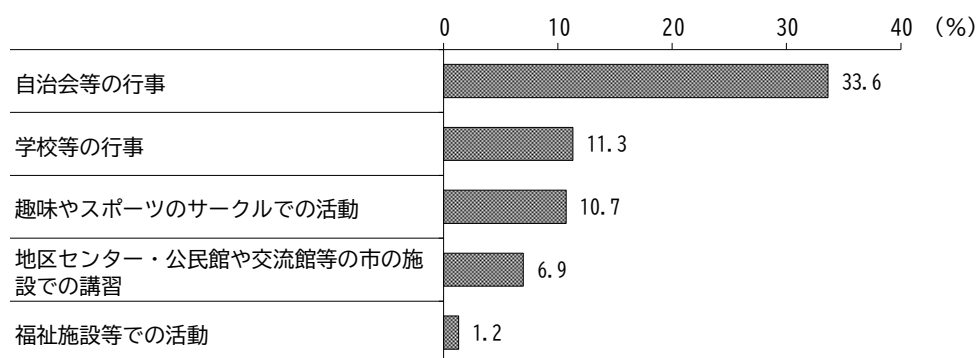
図 14-4 従事者の資質 (n=2,440)



15. 地域活動への参加状況について

○地域活動への参加状況は、「自治会等の行事」が3割強で最も多い。

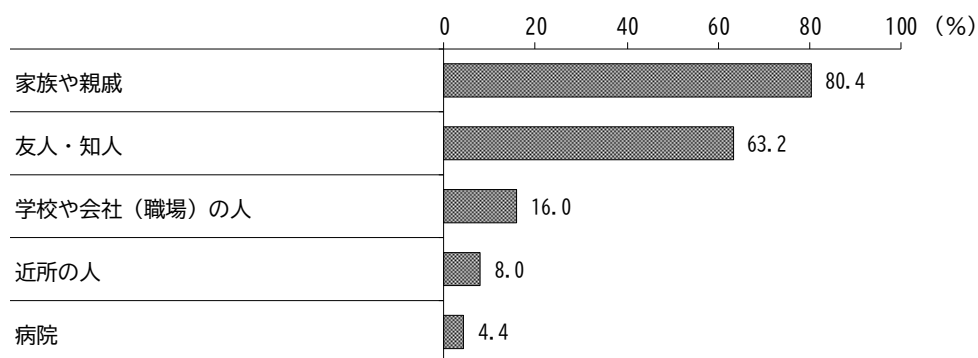
図 15-1 地域活動への参加状況（上位5項目）（n=2,440）



16. 相談できる相手や場所について

○心配ごとや困りごとを相談できる相手や場所は、「家族や親戚」が約8割で最も多い。

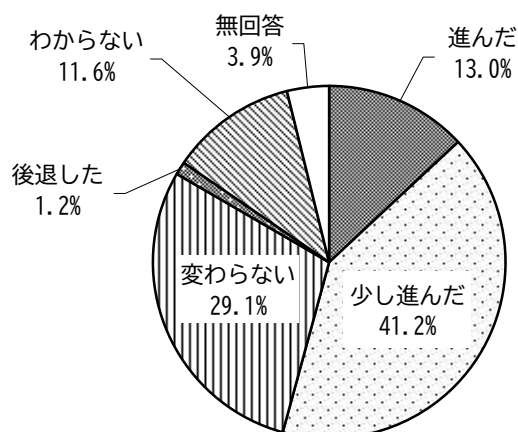
図 16-1 心配ごとや困りごとを相談できる相手や場所（上位5項目）（n=2,440）



17. 障がいや障がいのある人に対する理解について

○障がいや障がいのある人に対する理解の進捗は、『進んだ』（「進んだ」と「少し進んだ」の合計）が5割半ば。

図 17-1 障がいや障がいのある人に対する理解の進捗（n=2,440）



18. キャッシュレス決済について

- キャッシュレス決済の利用経験については、「ある」が8割、「ない」が2割弱。
- 市の窓口等でのキャッシュレス決済の利用経験については、「ある」が2割半ば、「ない」が7割半ば。
- キャッシュレス決済を利用しない理由は、「詐欺などの犯罪被害が心配だから」が5割弱で最も多い。

図 14-1 キャッシュレス決済の利用経験
(n=2,440)

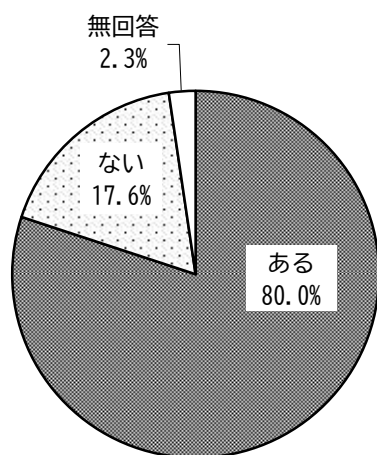


図 14-2 市の窓口等でのキャッシュレス決済の利用経験 (n=1,953)

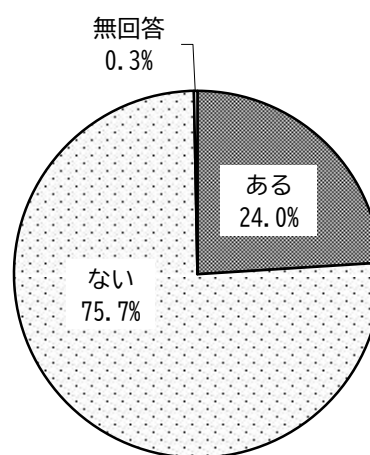
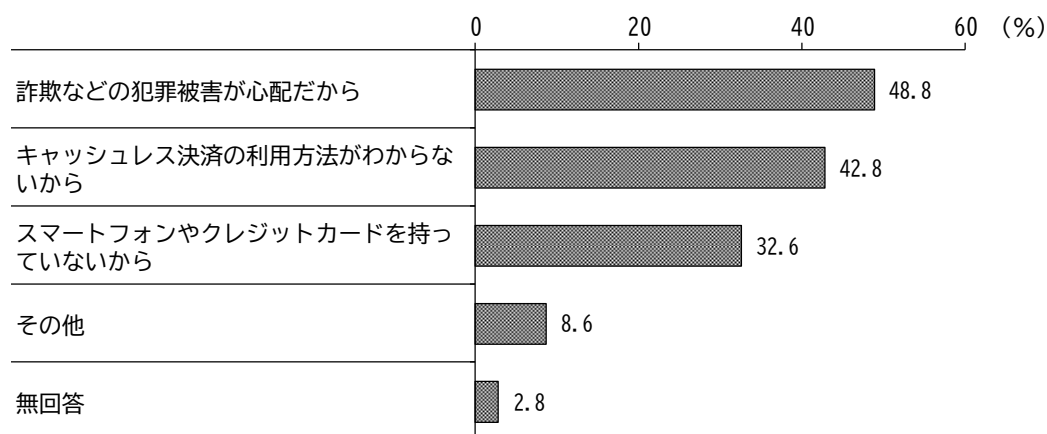


図 14-3 キャッシュレス決済を利用しない理由 (n=430)



19. 自治会について

- 自治会の加入状況は、「加入している」が7割弱。
- 自治会に加入した理由は、「加入するのが当然だと思うため」が約6割で最も多い。
- 参加している自治会活動は、「町内清掃などの環境美化活動」が4割半ばで最も多い。
- 自治会に加入して感じている点は、「地域に顔見知りができ安心感がある」が4割強で最も多い。
- 自治会に加入しない理由は、「加入しなくても困らないため」が3割半ばで最も多い。
- 自治会に加入するために必要だと思うことは、「仕事や家事にゆとりがあること」が5割弱で最も多い。
- 自治会への加入意思は、「加入したくない」が5割強で最も多い。
- 自治会を脱会した理由は、「自治会に加入しているメリットが感じられなかった」が6割半ばで最も多い。

図 19-1 自治会の加入状況 (n=2,440)

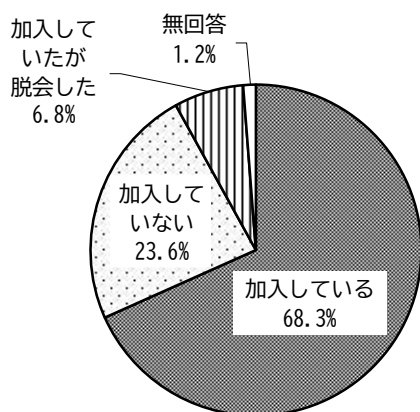


図 19-2 自治会に加入した理由 (上位5項目)
(n=1,667)

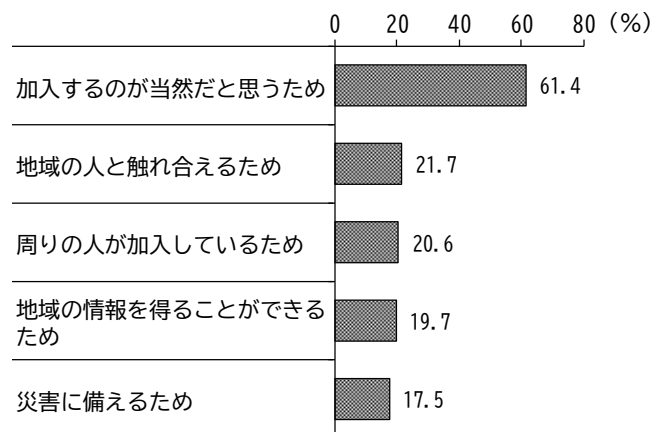


図 19-3 参加している自治会活動 (上位5項目)
(n=1,667)

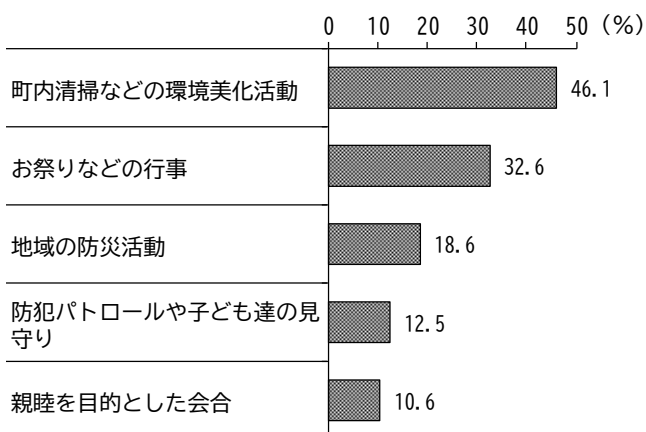


図 19-4 自治会に加入して感じている点
(上位5項目) (n=1,667)

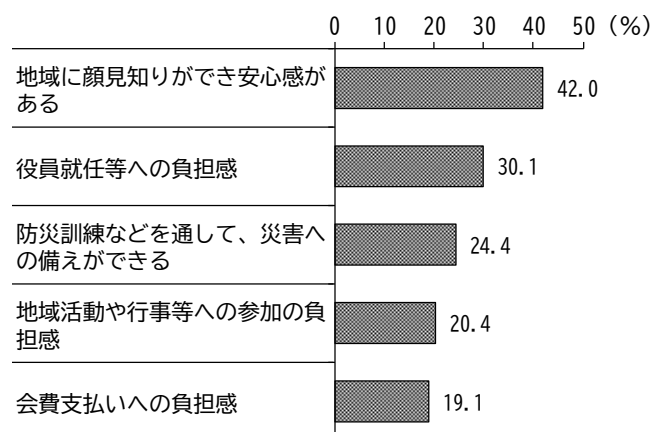


図 19-5 自治会に加入しない理由
(上位5項目) (n=577)

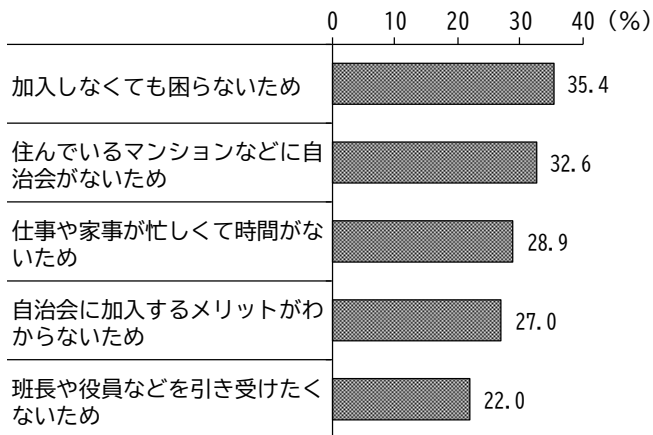


図 19-6 自治会に加入するために必要だと思

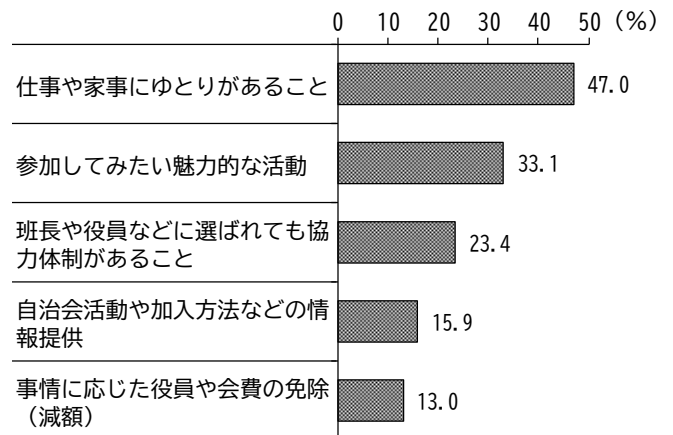


図 19-7 自治会への加入意思
(n=577)

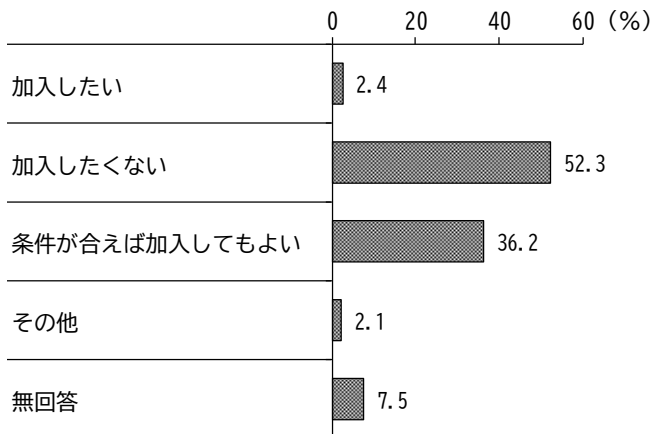
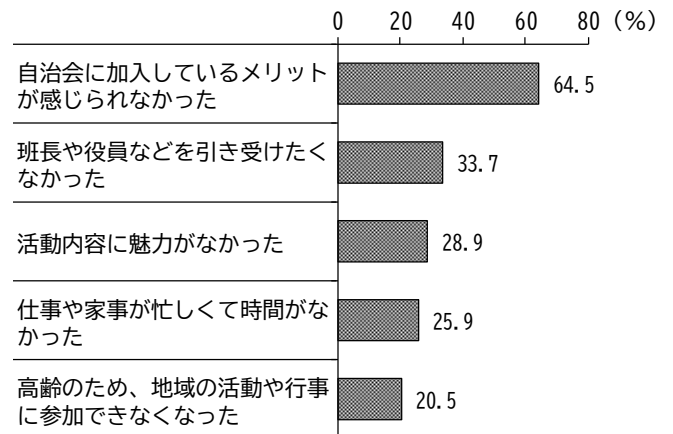


図 19-8 自治会を脱会した理由 (上位5項目)
(n=166)



20. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は、『週1回以上』（「週に3回以上」と「週に1～2回程度」の合計）が4割強。
- 活動を行った主な理由は、「運動不足解消」が7割弱で最も多い。
- 活動を行っていない理由は、「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が4割弱で最も多い。
- 今後、行ってみたい活動は、比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「バドミントン」で最も多い。

図 20-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況（n=2,440）

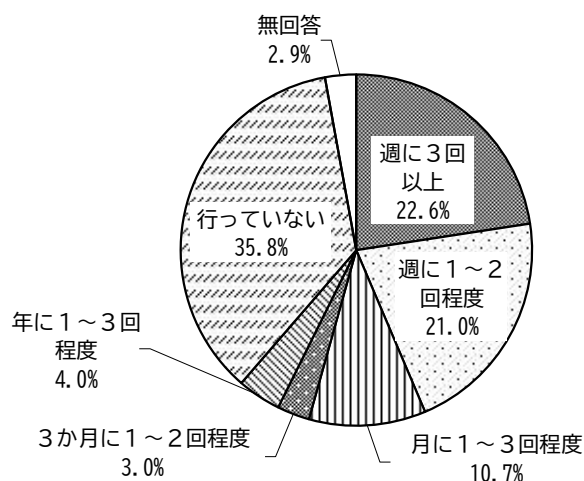


図 20-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由（上位5項目）（n=1,497）

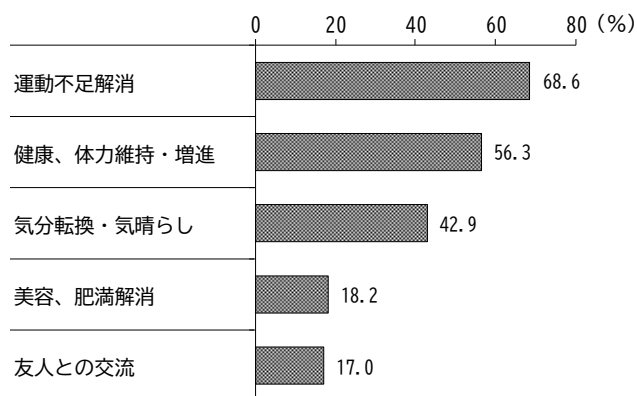


図 20-3 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由（上位5項目）（n=873）

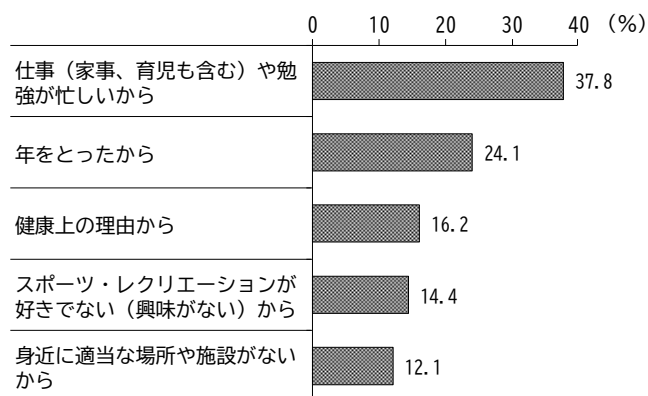
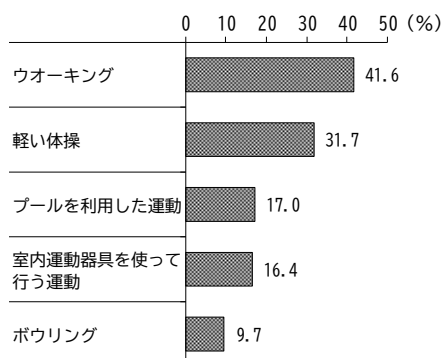
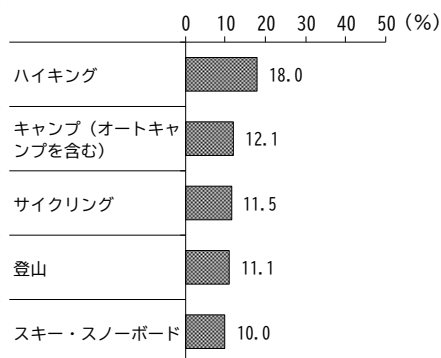


図 20-4 今後、行ってみたいと思うスポーツ・レクリエーション活動（上位5項目）（n=2,440）

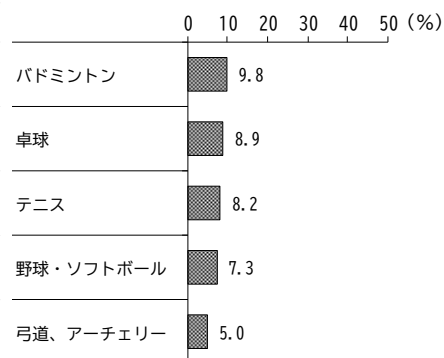
—比較的軽いスポーツ—



—野外活動—



—競技的スポーツ—



21. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は、「駅周辺の整備」が3割弱で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は、「防犯対策」が4割弱で最も多い。

図 21-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 項目) (n=2,440)

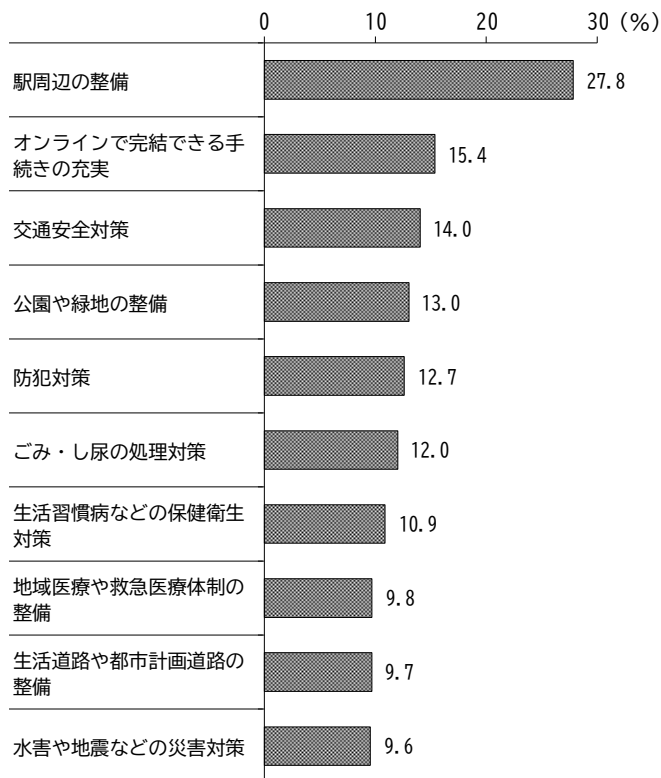
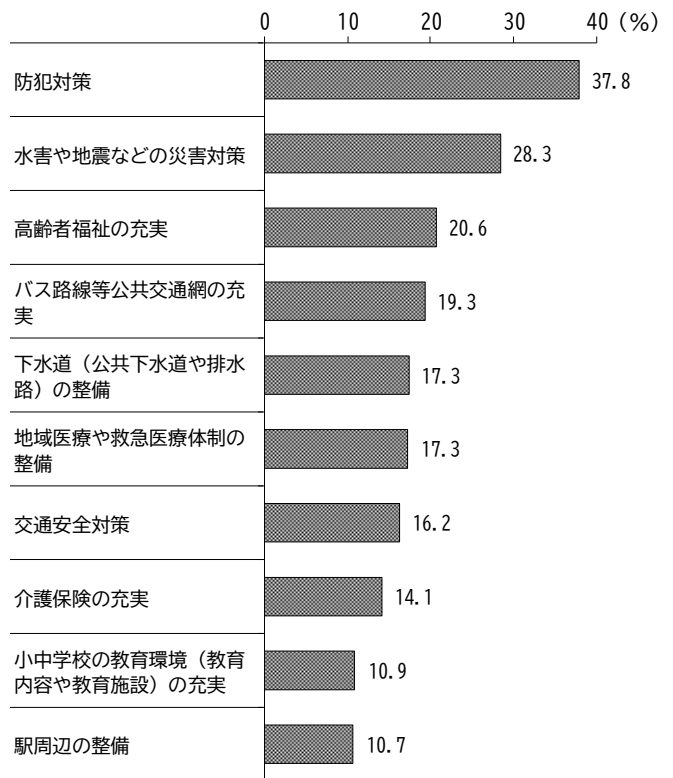


図 21-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 項目) (n=2,440)



令和7年度 市政世論調査結果報告書

令和7年11月

発 行： 越谷市 市民協働部 くらし安心課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048(963)9336(直通)

調査実施： 株式会社 物流科学研究所
〒330-0052 さいたま市浦和区本太2-2-36
SUNCREST 302
電話 048(887)3790
